



令和3年度第1回

可燃ごみ及び資源物排出状況調査を実施しました

令和3年6月に可燃ごみと資源物の排出状況について、町環境委員が実施した調査結果をまとめたところ、下記のような結果となりました。なお、調査は袋を開封せず、外見から目視により行いました。

前回調査(令和2年10月実施分)と比較して、可燃ごみへの異物割合が全般的に大きく減少しており、可燃ごみ分別のマナー向上が見られます。しかしながら、資源物の排出状況については大きな変化は見られませんでした。

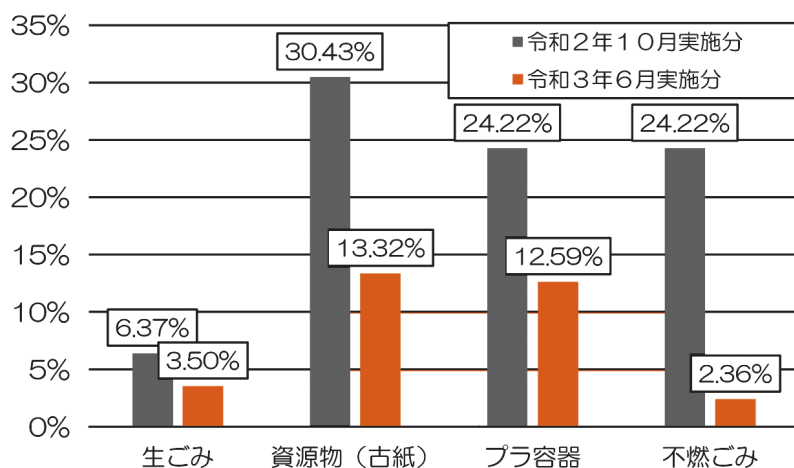
つきましては、今後も町民1人ひとりルールを守り、ごみの正しい出し方、ごみの減量化を心がけていただくをお願いします。

調査内容		令和2年10月	令和3年6月
可燃ごみ	延べ調査箇所数	141	204
	調査可燃ごみ数	6,489	8,376
資源物	延べ調査箇所数	81	113


可燃ごみ (主な状況及び意見)

- ・プラ容器や古紙など、他の分別区分のものが混入している。
- ・米袋など、中身が見えない袋でごみが排出されている。
- ・朝8時以降にごみ出しするケースが見受けられる。

可燃ごみに混入した他の分別区分の割合



資源物 (主な状況及び意見)

- ・ラベルやキャップのついたままのビン・缶・ペットボトルが見受けられる。
- ・飲料以外のビン・缶、プラ製のボトル(プラ容器)が排出されている。
- ・洗浄されていないビン、缶、ペットボトルが排出されている。
- ・古紙、古布が紐で縛られずに出されている。

資源物におけるルール違反の割合

